

平成29年度 小林市立野尻中学校 学校関係者評価書

【学校の教育目標】

未来を生き抜くための確かな学力、豊かな心、たくましいからだをもった子どもの育成

【学校経営ビジョン】

- 「夢」「挑戦」「貢献」をスローガンに、活力ある教育活動を推進することにより、学校教育目標の具現化を図り、信頼される学校づくりに努める。
- 小中一貫教育を基盤とした「知育」、「徳育」、「体育」、「食育」のバランスのとれた教育の推進に努める。

《評価：4段階評価》

- 4 期待以上
- 3 ほぼ期待どおり
- 2 やや期待を下回る
- 1 改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント	
知育	<p><b>○確かな学力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学力検査の分析や教材研究、ICTの効果的な活用等による、学びたい意欲を高め、わかる楽しさ、できる喜びを実感できる授業改善の推進</li> <li>② 少人数指導や特別支援教育の充実による個に応じた指導の徹底</li> <li>③ 生徒指導の機能を生かした学習指導による主体的な学習の推進</li> <li>④ 「立腰」や「学習のきまり」等の指導による学習規律の徹底</li> <li>⑤ 教科担任や家庭との連携による家庭学習の充実</li> <li>⑥ キャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重点支援校の指定を受け、指導主事等からの助言を手がかりに一人一人が積極的に授業改善に努めたことにより、生徒が分かりやすい授業につながった。</li> <li>○ 家庭学習の仕方について、担任と各教科担任が連携して内容の充実を図るようにしたことで一定の成果はあったが、さらに苦手教科の克服につながるよう家庭との連携を図る必要がある。</li> <li>○ キャリア教育支援センターやKSSVCを活用して、総合的な学習の時間や学校行事で講師による授業を展開することで、生徒が将来の夢や目標について考える機会が増えた。</li> <li>○ 学力検査の分析を行い授業に生かしているが、一人一人の学力分析が個性伸張につながるよう個別指導・支援のできる手立てが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3.2</li> <li>② 3.1</li> <li>③ 2.7</li> <li>④ 2.9</li> <li>⑤ 2.9</li> <li>⑥ 3.1</li> </ul>	3.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回の重点支援校訪問で、指導主事（第三者）の指導助言を生かし、授業改善に努めた結果が生徒の評価や学力に成果として表れている。</li> <li>・キャリア教育を取り入れたことで将来の夢や目標に向かってがんばろうとする機会につながっている。</li> <li>・数学と英語を苦手とする生徒が多いので、少人数指導やチームティーチング指導により、きめ細かな指導を継続してほしい。</li> <li>・立腰や書く姿勢については生徒の自己評価も低いので、具体的な指導による改善をお願いしたい。</li> </ul>
徳育	<p><b>○豊かな心の育成・生徒指導の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 道徳の時間の完全実施及び道徳の時間の充実による豊かな心の育成</li> <li>② 人権教育の充実による、いじめ・不登校ゼロの推進</li> <li>③ 関係機関との連携やいじめ・不登校対策委員会、アンケート、教育相談の充実等による生徒の悩み等の早期発見・早期解決</li> <li>④ あいさつ運動やボランティア活動の推進による貢献する心の育成</li> <li>⑤ 積極的な生徒指導の推進と基本的な生活習慣の確立</li> <li>⑥ 「立腰」「凡事徹底」「きまり」等の指導による規範意識の高揚</li> <li>⑦ 配慮を要する生徒への共通理解、共通実践の推進</li> <li>⑧ 読書活動の充実により、年間一人25冊以上を目指す</li> <li>⑨ 清掃活動の充実による感謝の心や奉仕の心の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会を中心に学校行事や委員会活動に積極的に取り組むことで、協力すること、挑戦すること、やり遂げることの素晴らしさを体験し、社会で必要とされる資質向上につながった。</li> <li>○ 定期的教育相談に加え、悩みのある生徒や教師の観察で気になる生徒については、学級担任や学年職員、スクールカウンセラーにより積極的に教育相談を行い、相談内容の解決や人間関係の把握、見守り、指導に役立てることができた。</li> <li>○ 人間関係に悩む生徒の多くが、相手の言葉や行動に傷ついており、道徳や学級活動などで人権教育をさらに充実していく必要がある。</li> <li>○ スクールソーシャルワーカーやカウンセラー、家庭相談室などを活用し、不登校傾向の生徒の悩みや障害となっていることを把握し、一日でも多く楽しく学校生活を送れるよう連携して対応した。</li> <li>○ 読書量については、2月中旬時点の学校図書館貸出冊数では平均23冊を越えているが、個人差が大きく、全員が年間25冊以上を読むための手立てがさらに必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2.8</li> <li>② 2.6</li> <li>③ 3.4</li> <li>④ 2.6</li> <li>⑤ 2.9</li> <li>⑥ 2.7</li> <li>⑦ 3.2</li> <li>⑧ 2.4</li> <li>⑨ 2.8</li> </ul>	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間性が問われる現代、豊かな心の育成は重要なものとなっている。学校行事や委員会などで積極的に活動できた生徒は、仲間との協力や挑戦する中で心の葛藤を体験できた生徒は成長につながったと思う。さらに一人でも多くの生徒が積極的に取り組めるようにお願いしたい。</li> <li>・先生方が生徒の悩み等を聞く機会を多く設けていただいたり、関係機関との連携によく取り組まれたりしていることが分かった。いじめ・不登校ゼロを目指した道徳教育や人権教育のさらなる充実を図り、豊かな心を育ててほしい。</li> <li>・登下校時のあいさつや交通道徳は、よくできている生徒と改善の必要な生徒がいる。命を守る、社会で必要なあいさつについては、今後も凡事徹底の指導をお願いしたい。</li> </ul>
体育	<p><b>○体力の向上と健康安全の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 体力向上プランに基づく体育の授業や部活動、朝の体操等の充実による基礎体力の向上</li> <li>② 新体力テストの全種目において、県平均を上回る</li> <li>③ 健康教育の充実・推進による健康への意識の高揚と健康管理能力の育成</li> <li>④ 健康の維持増進を目指した、体位測定や運動器検診等各種検診を用いた具体的指導の充実</li> <li>⑤ 安全教育、防災教育、避難訓練等の充実による安全意識の高揚と危険回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育を苦手とする生徒は0で、積極的に体を動かし楽しく活動をしているが、体力テストの結果を手がかりに一人一人の体力向上に向けての具体的な取組を行う必要がある。</li> <li>○ 各種健康診断の結果を家庭に連絡し、必要に応じて治療を勧告している。虫歯の治療については、今年度も90%を超える見通しで、県教育庁から表彰を受けた。</li> <li>○ 自然災害に加え、他国からのミサイル発射等の非常時に備えるためのマニュアルの作成や避難訓練の実施を行い、生徒が状況判断を適切にできるように指導を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2.6</li> <li>② 2.5</li> <li>③ 2.8</li> <li>④ 3.1</li> <li>⑤ 3.1</li> </ul>	2.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員が、体育の授業を楽しく取り組んでいるのは素晴らしい。部活動にも熱心に取り組む、体力テストの項目では評価できない部分で結果を残している。</li> <li>・虫歯の治療率が三年連続で90%を超え、家庭と学校が連携できているので素晴らしい。今後も継続し、よき伝統にしていきたい。目（視力）は、一生大切にしたいものなので、書く姿勢を良くすることで、視力低下防止にも努めていただきたい。</li> <li>・部活動顧問の負担軽減のための外部指導者の活用は続けてほしい。先生方の健康・負担感の軽減に努めていただきたい。</li> </ul>
食育	<p><b>○食育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 食育に関する指導の充実と食事と栄養に関心をもつ生徒の育成</li> <li>② 自ら作る弁当の日の実践による自立と感謝の心の育成</li> <li>③ 全職員での給食指導による食事のマナー指導と残食ゼロを目指した取組の充実</li> <li>④ バランスの取れた朝食等家庭での適切な食習慣についての啓発</li> <li>⑤ 親子で料理をする日や、地域素材・地域人材を活用した調理実習等による感謝の心や貢献する心の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年3回のお弁当の日は、家庭科の授業や文化発表会と関連付けて実施することで、意図するコースを自ら選択し実践できるようにした。</li> <li>○ 2学期から給食委員会が偏食や好き嫌いをなくすために、残食コンクールを月ごとに行い表彰をすることで、残食0のクラスがほとんどになり成果が出ている。</li> <li>○ 朝食はほとんどの生徒が摂取するが、栄養のバランスに偏りがあることから、今後は中学生期の成長や運動量に応じた食生活について指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3.1</li> <li>② 3.2</li> <li>③ 3.1</li> <li>④ 3.0</li> <li>⑤ 2.9</li> </ul>	3.1	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での食事のマナーについては、生徒も職員も良いと評価しているが、家庭での食事のマナーはやや低いようである。家庭での食事マナーについて向上できるようPTAでも取り上げるとよい。</li> <li>・給食委員会のコンクールや日々の取組で、残食が少なくなったことは大変素晴らしい。命をいただく、作っていただいた方々に感謝する、自分の適量を知る、バランスよく食べるなどよく学べていると思う。</li> <li>・お弁当の取組もよく取り組んでいる。継続していただきたい。</li> </ul>
次年度の方向性についての校長所見		<p>「知育」「徳育」「体育」「食育」の4項目の目標達成に向けて、具体的な手立てによりバランスよく実践できた。特に、重点支援校による授業力向上に向けた取組、関係機関等との連携による地域の力を生かしたキャリア教育や生徒指導面において充実が図られ成果に結びついた。</p> <p>次年度は、生徒一人ひとりが野尻地域に根ざす「凡事徹底」の取組をあいさつや立腰など見える形で実践させていきたい。また、生徒一人ひとりが学校生活を楽しく有意義に過ごせるように、いじめ・不登校ゼロを目指し、さらに、学級活動や道徳などを充実させて人権教育に積極的に取り組み、思いやりのある豊かな心の育成に努めていきたい。</p>				